

第45回定期大会 開催

— 2021年11月24日(水) アクトシティ浜松コンgresセンター 他 —

MYユニオンの活動の中で、1年間の集大成となっているのが定期大会です。今年も静岡県浜松市のメイン会場を中心に7会場をネットで結ぶ分散開催となりました。各分会から集まった大会役員がそれぞれの会場で決議や投票のとりまとめを行い、議事はおおむねスムーズに進行しました。その主な内容をご紹介します。



浜松をメイン会場に全7会場リモート開催

- 開催会場**
- 静岡・神奈川会場
 - 浜松/アクトシティ浜松コンgresセンター 41会議室
 - 三島/東レ総合研修センター研修棟 大研修室
 - 小田原/小田原お堀端コンベンションホール ホールA
 - 愛知会場
 - 名古屋/TKPガーデンシティPREMIUM 名駅西口
 - 三重・滋賀会場
 - 四日市/四日市都ホテル 伊勢の間
 - 松阪/フレックスホテル 飛鳥・天
 - 滋賀/ホテルボストンプラザ草津 クロケット

組合員の皆さん、日頃よりユニオンの諸活動に対しご理解とご協力を頂き、ありがとうございます。また、新型コロナウイルス感染症が未だ完全な終息を見せない中で、地域の暮らしを守るといふ使命感のもと、日々奮闘頂いていることに心から敬意を表します。そして7月に発生した静岡県東部を中心とした大雨災害により、被災された皆さまに心からお見舞いを申し上げますとともに、労使カンパの取り組みに対し各職場で感謝の気持ちに深く感謝申し上げます。

わたしたちの生活基盤であるマックスバリュ東海(株)は、環境の変化に対応し地域になくはないお店になるため、強固な事業基盤の構築と持続的な成長を可能にすることで「お客さま満足」「従業員満足」「地域社会満足」の3つの満足を最大化することを目的に統合をしまし

た。統合から2年が経過し3年目を迎えています。この間、組合員の皆さんも各職場において様々な変化に対応すべく、努力を積み重ねてこられたことと実感しています。こうして第45回定期大会を迎えられるのも会社の存続なくしては叶わないことであり、これまで働く仲間のみならず、これまで頑張ってきたことに対し、共に称えたい、喜び合いたいと思います。

流通小売業を取り巻く環境は、業態を超えた競争の激化、超少子高齢化社会の到来、人口減少による消費縮小、労働力人口の激減、ウィズコロナ・アフターコロナの対応など、今も一層厳しさが続いています。その変化に対応すべく、今後も各社で生き残りをつけた様々な施策が取り組まれることは言うまでもありませんが、中でも生産性の向上が、多くの企業において最優先課題となっています。

もう一つは「働くもの・生活者」として報われる政治・社会の実現です。わたしたちの代表である「かわいたかのり」「田村まみ」両参議院議員により、流通小売業の現場で起きている問題が国政に伝わるようになり、カスタマーハラスメント対策やコロナ禍でのお買い物時の安全対策などの施策が講じられるようになりました。今後もわたしたちが抱える問題を継続して解決していけるよう、来年7月



「働き続けたい会社を目指し、みんなで作る、取り組みましよう」

中央執行委員長 角谷公敏

マックスバリュ東海MYユニオンは昨年の第44回定期大会において、わたしたちのありたい姿の一つとして「働きたい・働き続けたい会社(職場)の実現」を掲げました。その実現に向けて不可欠なことは、企業の永続的な発展と成長です。経営の現実をつくっているのはわたしたちの「働く」という行為であり、経営の持続可能性を確立するためには「働きたい」のある職場の実現が不可欠であると考えます。わたしたちの「働きたい」を妨げている問題をしっかりと取り除いていくことで「働く」という行為そのものの価値を高め、生産性の向上に寄与していくことが必要です。

わたしたちのありたい姿のもう一つは「働くもの・生活者」として報われる政治・社会の実現です。わたしたちの代表である「かわいたかのり」「田村まみ」両参議院議員により、流通小売業の現場で起きている問題が国政に伝わるようになり、カスタマーハラスメント対策やコロナ禍でのお買い物時の安全対策などの施策が講じられるようになりました。今後もわたしたちが抱える問題を継続して解決していけるよう、来年7月

決める、みんなでやり遂げる」全員参加の組合活動です。今後、仲間の皆さんと共に「こうしよう」「こうしていいこう」という議論を重ねながら、より職場に近いところで多くの活動を創り上げていきたいと思っております。

主役である組合員の皆さんの主体的な参画をお願いし、大会を迎えてのご挨拶とさせていただきます。

に行われる参議院議員選挙において「かわいたかのり」参議院議員の必勝に向けた取り組みをしっかりと進めていく必要があります。

マックスバリュ東海MYユニオンは、わたしたちのありたい姿を現実にする力を持つ強い組織を確立していかなければなりません。その基盤となるのは「みんなで考え、みんなが必要があります。」

祝電・メッセージも続々

定期大会開催に際し、マックスバリュ東海株式会社、かわいたかのり・田村まみ両参議院議員をはじめ、多くの皆さまから250に及ぶ祝電やメッセージをいただきました。UAゼンセンやイオン労働連など全国の労働組合の仲間からも心を寄せていただき、盛会となりました。

かわいたかのり参議院議員より

マックスバリュ東海MYユニオン「第45回定期大会」のご盛會を心よりお慶び申し上げます。また、日頃より力強いご支援を賜っておりますことに厚く御礼申し上げます。(中略)

皆さまからお寄せいただいた多岐にわたるコロナ対策の実現に向けて取り組みを進め、雇用調整助成金の特例措置の拡充・継続、カスタマーハラスメント対策など、多くの政策を実現することが



第44期活動報告

「強いユニオン」への第一歩

中央執行書記長 福田雅之

統合したばかりのMYユニオンには組織づくりが急務です。昨期に引き続きコロナに翻弄された1年でしたが、組合員のありたい姿を目指す「強いユニオン」の実現に向け、新しい組織体制の第一歩を踏み出すことができました。

● 昨期の主な動き

クルールなどを通じて現場の情報を集約し、会社への提言や要請を行いました。

● 組織の強化策

ユニオンのガバナンス（管理体制）機能を強化するため、組合規約及び規定の整備を進めました。一方、分会の運営を支える中央執行委員を2名増員しました。また、イオン

労連中部地域会議主催の行事に参加し、単組の枠を超えてつながる活動を進めることができました。一方、分会長や組合員が主体となり、自分たちのやりたいことを自分たちで工夫し実行できる組織づくりは、今後も継続して取り組む課題です。

● 教育活動

毎年行っている新入正社員組合員対象のフレッシュャーズセミナーは新型コロナウイルスが猛威を奮っていた時期と重なり開催を見合わせました。時期を改めてユニオンを知り仲間を感じる機会を提示します。また役員を対象とした中央執行

委員セミナーは合宿形式でなく講義形式で行い、役員活動の心構えを共有しました。

● 総合労働条件闘争

先行き不透明な中、正社員組合員月例賞金については資格給でベースアップを実現しました。コミユニティ社員は基本給1円アップにとどまる結果となりましたが、子女教育手当を導入することにより、同一労働同一賃金に向けた取り組みを進めることができました。決算賞与が配分できたことも大きな成果でした。

● 課題解決活動

2021年1月度から各分会での職場集会をスタートし

ました。毎月1回の集会によって職場の問題を共有し、自分たちで解決できるものについての改善を進めました。自分たちでは解決できない問題は活動推進委員会や中央執行委員会へ共有し、必要に応じて会社へ低減や要請を行いました。

● 雇用確保

2021年度は完全閉店1店とスクラップ&ビルドによる一時閉店が数店ありましたが、それぞれ組合員の雇用の確保を最優先に会社と連携し対応しました。

● 政策政治活動

かわいたかノリ参議院議員

の支援活動として2月より後援会入会活動を開始。7月開催のユニオンスクールではユニオンの政治活動について理解を深めました。三重県では「いどばた懇談会」を実施し地域の組織内議員らと直接話す場をつくりました。

● 事業活動

レクリエーションは新型コロナウイルスの影響で中止となりました。

● 社会貢献活動

社会貢献基金として組合員1人につき毎月10円の積立を開始。令和3年7月の大雨災害で被災された仲間、労使共同カンパ金を贈ると共に

基金から15万円を拠出した。カンボジア支援活動「贈水の輪」や東日本復興支援活動、児童養護施設への寄付活動を継続しています。

● 広報活動

ホームページを刷新中です。組合員専用ページを設置、各種申請書のダウンロード機能も充実させて、まもなく公開します。

● 福利厚生

感染対策の観点から組合員全員に携帯用アルコールスプレーなどを配布しました。その他、福利厚生・共済制度の刷新に向け組合員の声を集約して見直しを進めました。

に詳しく伝えます。

● 福利厚生制度の変更

映画鑑賞補助金を年4回に、人間ドック補助の対象を全組合員に、新しいユニオン共済の導入などの制度変更を行い、組合員に周知します。各種申請書類はホームページから印刷できるよう整備を進めます。

● 会計規定の見直し

会計規定の見直しにより、組合規約を改定します。また特別会計を整備します。

第45期活動方針

心を合わせる

再スタートの年に

中央執行書記長 福田雅之

● 重点目標

1 課題解決活動の強化

第44期からスタートした職場集会の取り組みを継続し、職場における課題解決を進めます。活動推進委員会の取り組みとして分会訪問を実施し、中央執行委員と分会役員の連携を強め、定期的な職場集会の開催を進めます。全体的な課題については、労使協議会や労使ミーティングまた必要に応じて関係各部署と協議し課題解決に努めます。



2 社会や地域、産業における課題解決に向けた取り組み

わたしたちが暮らしている社会や地域、また働いている流通産業には多くの課題があります。労使の努力だけでは解決できないこれらの課題を解決し、自分たちが暮らしやすくなる環境を実現していくためには政治の力が不可欠です。

2019年7月には仲間の力を結集し、流通の代表として田村まみが参議院議員選挙で当選しました。この2年間はまさに田村まみ、かわいたかノリの二人三脚でコロナ禍における現場の声を国政に届けてきました。

● 役割と責任を果たせる体制づくり

中央執行委員会に専従者2名を補充し、中央執行委員会内で専門委員会ごとの進捗確認を行います。

● 新制度の労働条件を点検

正社員・コミユニティ社員とも、制度変更後の課題を点検し、優先順位をつけて課題解決を図ります。

● ホームページ活用促進

活用の周知を行うとともに各委員会の活動内容を組合員

参議院議員の再選は必要不可欠であり、第45期の重点活動として取り組みます。

● 主な活動と方針

● 課題解決活動を二丁目一歩地に

「働きたい・働きつづけたい職場（会社）」の実現に向け、職場や会社の問題を洗い出し改善に向けた取り組みを進めます。自分たちの職場を自分たちで良くしていく「課題解決活動サイクル」を実践していきます。

● 学びの機会づくり

活動を進めるための学びの機会をもちます。上部単体や外部主催のセミナーに組合員を派遣したり、講師の招聘、オンライン教育なども積極的に進めます。また昨期から延期されているフレッシュャーズセミナーを開催し、ユニオンや仲間を知る機会を設けます。

● 社会貢献活動の継続

社会貢献基金により地域の児童福祉施設への寄付を行います。また「贈水の輪」や東日本復興支援の活動も継続して進めます。

● ホームページ活用促進

活用の周知を行うとともに各委員会の活動内容を組合員

● より実効性のある活動推進委員会に
分会長や組合員が主体となり、ユニオンの活動として「やりたいこと、必要と思うこと」を創意工夫して実行できる土台づくりを進めていきます。

● 第26回参院選に向けて

昨期はかわいたかノリ・田村まみ両議員のタッグで流通業の仲間の声が国会に届きました。今期はかわいたかノリ議員再選に向け、後援会入会促進活動と併せて、かわいた氏を覚えていただく定着活動を進めます。

● レクリエーション開催

コロナ禍でもできるレクリエーション活動を開催します。また職場の枠を超えた交流の機会を作ります。

● 社会貢献活動の継続

社会貢献基金により地域の児童福祉施設への寄付を行います。また「贈水の輪」や東日本復興支援の活動も継続して進めます。

● ホームページ活用促進

活用の周知を行うとともに各委員会の活動内容を組合員

● 閉会あいさつ
「集まって一緒に話す場を」
中央執行委員長代行 山本 潤



今回も新型コロナウイルスの影響で会場を分散した大会となりましたが、今後は可能な限り皆さんで顔を合わせて活動をしていきたいと思っています。働きたい・働きつづけたい会社になっていくには、集まって、我々はどうしたいと声を上げていくことが大事です。皆さんも参画していただき、一緒に今期を進めていきましょう。



その他の議案も承認

会場では第44期会計報告・第45期会計予算が審議され、承認されました。また組合規約変更決議はスマートフォンを使った投票により承認されました。

